

# 日本教授学習心理学会第17回大会年会 ご案内

(第2号通信)

日本教授学習心理学会会員 各位

第17回年会準備委員会委員長  
平 真木夫 (宮城教育大学)

会員の皆様にはますますのご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、第17回目を迎える日本教授学習心理学会の年会は、昨今の新型コロナの感染状況を鑑み完全オンラインとなりました。本来は開催校である宮城教育大学にお越しいただきたくて旧交を温めていただきたいところですが、残念ながら対面での発表は行わず、Zoomを利用した双方向でのライブ配信とさせていただきます。

また、本学会では初めての取り組みとなるZoomを利用したライブ配信に先だって、会員の皆様方には事前の接続確認の場を設け、会員の皆様方に接続の練習の機会を提供させていただきたいと存じます。

多くの会員の皆さまのご参加とご発表をお待ちしております。

2021年4月上旬

日本教授学習心理学会第17回年会準備委員会

委員長 平真木夫 (宮城教育大学)

準備委員 本田伊克 (宮城教育大学)

武井真澄 (宮城教育大学)

工藤与志文 (東北大学)

深谷優子 (東北大学)

荒井龍弥 (仙台大学)

白井秀明 (東北福祉大学)

佐藤誠子 (石巻専修大学)

小野耕一 (宮城野区中央市民センター)

## I 会期・会場

会期： 2021年6月26日(土)、27日(日)の2日間

会場： Zoomによる双方向でのライブ配信

発表者の題目を含めプログラムの詳細は後ほどお送りいたします。26日の13:00から情報活用能力育成をテーマに宮城教育大学の安藤明伸氏による講演会を予定しています。

参加費： 今回の年会は参加費を徴収しません。

## 2021 年度日本教授学習心理学会年会参加確認フォーム

参加確認締め切り： 6月1日

参加される皆様にはメールでお知らせします Zoom の接続方法にしたがってご参加ください。

先日お送りした葉書において参加の確認をさせていただきましたが、お手数かけて大変申し訳ございませんが、参加を希望する方はあらためてQRコードを読み取られるか、フォームやメールアドレスに Zoom の接続方法を通知するためのメールアドレスを 6月1日までにお送りください。後ほど Zoom の接続練習会および年会のリンクとパスワードをメールでお送りします。

<https://forms.gle/9zjv1917kWQfZhZa9>



## 第 17 回年会準備委員会アドレス 2021.japtl@gmail.com

### II 予稿集原稿ファイル作成要領

1. 第 1 号通信の葉書で学会発表のご意向を確認させていただきましたが、その時点で「未定」「発表しない」と回答いただいた方も発表原稿をお送りいただきかまいません。
2. 原稿ファイルを PDF 形式で保存して、『2021.japtl@gmail.com』宛に 5月6日までにお送りください。なお、原稿ファイルの雛形が必要な方は、2021.japtl@gmail.com までご連絡ください。折り返し、Word 形式にて雛形をご送信差し上げます。
3. 発表の方法は一人あたり 15 分の発表、質疑応答 15 分、あわせて 30 分とします。
4. 「研究発表」及び「実践発表」の原稿内容は、1 つの研究・実践としてのまとまりを考慮し、過剰な量の結果を記載することなどがないようにお願いします。
5. (1) 「研究発表」の原稿は、原則として、「研究の目的」、「方法」、「結果」、「考察」、「文献」などの項目に分け、明確に記述して下さい。例えば、「結果の詳細は発表の際に述べる」、「結果については資料を当日提示する」などと書くことのないようにお願いいたします。  
(2) 「実践発表」の原稿は、「ねらい」（他の類似した項目例としては「実践の背景」「実践の動機」「実践の意義」など）、「手立て」（「授業の構成」「授業案」「指導案」「活動」「授業モデル」など）、「実践の成果」（「授業の結果」「期待される効果」など）、「今後の課題」（「実践の評価」「授業の改善点」など）、「文献」などの項目に分け、発表者が抱えている授業実践に関わる問題意識やその解決策の提案について、形式にとらわれることなく記述して下さい。ただし、「詳細は発表の際に述べる」などと書くことのないようにお願いいたし

ます。

#### 6. 発表 1 件あたりの制限とその割り付け

「研究発表」及び「実践発表」ともに、各発表 1 件あたり、予稿集の 2 ページを当てます。作成していただく原稿の 1 ページは、A4 判、横書き、2 段組とし、行数は 45 行、段落内文字数は 1 行 22 字、段落間の空白は 2 字分を取ってください。ただし、3 行、3 字程度の増減を認めます。題目、発表者氏名、所属機関名、keywords、本文の割り付けは、4 ページの図を参照してください。(実際の大きさは B 5 判になります)。

#### 7. 題目、発表者氏名、所属機関名、keywords、本文の記入方法 (図を参照してください)

(1)「題目」は、18 ポイント～22 ポイント程度の大きさで上から第 1 行目と第 2 行目に記述する。

(2)「氏名」は 10.5 ポイント程度で第 3 行目に記述する。また、連名の場合には、責任発表者の氏名の前に○印をつける。

(3)「所属」は、10.5 ポイント程度で、第 4 行目に氏名の下にカッコでくくって記述する。

(4) [key words] は、10.5 ポイント程度で [所属] の下、5 行目に 1 行のスペースで記述する。

(5) [本文] は、「key words」の行から 1 行空け、10.5 ポイント程度で第 7 行目から書き始める。

(6) 会員外の連名発表者については氏名の後に # 印をつける。

#### 8. 図と表の記載について

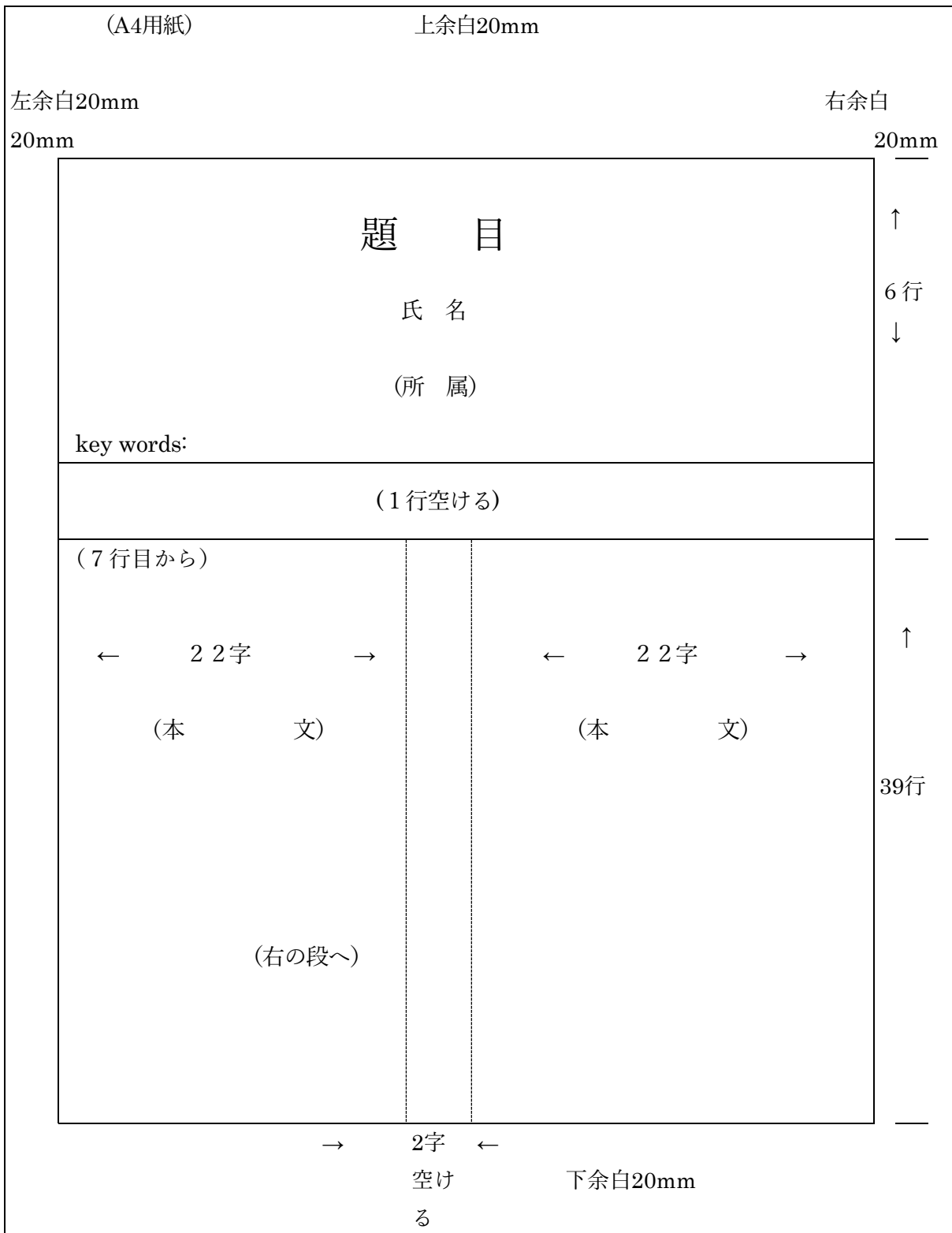
印刷して仕上がったときの縦横縮小率は 87% です。この点を考慮して作成してください。図や表の記載についての制限はありませんが、すべてが原稿の枠内に収まるようにしてください。

#### 9. 写真

写真は図として扱いますので、上記の点を考慮して原稿の枠内に貼り付けてください。モノクロ写真に限ります。仕上がりの状態は、ご自分でプリントアウトしてご確認ください。

※ 原稿記載の誤りは訂正されずにそのまま印刷されますので、作成要領をよく読んで原稿の作成にあたってください。

※ [A4判縦置き]



※ 図 原稿レイアウト (1ページ目)

※ 注1) 上図に示した行数および1行文字数は、おおよその目安です。ただし、指定の行数±3行、指定の文字数±3字の範囲内でお書きください。

※ 注2) 2ページ目は、題目等6行分はあけずに、1行目から本文をお書きください。